

資料 2

西東京市公民館運営審議会
令和7年度第1回定例会

令和6年度 公民館主催事業報告書

公運審提出日 令和7年5月21日

	実施館	事業名	期間・回数	参加者数	実施内容	主な講師等
1	柳沢	くるみ学級 (障害者学級)	令和6年4月13日から 令和7年3月9日 コアクラス 第2・第4土曜日、 たんぼぼクラス 第2・第4日曜日 (うち2回は合同)	コアクラス 延べ289人 たんぼぼクラス 延べ298人	<ul style="list-style-type: none"> ・「自ら考え、選択し、行動する」ことができるように、話し合いや考え合う場を活動の中に多くとり入れ、学級生の意向や判断を尊重し、実現できるように支援を行った。 ・少人数のグループ活動を行うことにより、全体の中ではなかなか意見を言えない学級生が発言したり、また自分達がやりたいと思うことを計画し実現したりしていくなど、能動的、自主的な行動を促すことができた。 	【音楽活動】 田中陽子（音楽講師） 三線チーム（やぎフェス音楽講師） フルートアンサンブルセルフフィード（ミニ演奏会）
2	柳沢	乳幼児をもつ母親のための講座 イライラしない、はじめての子育て講座	令和6年5月29日から 令和7年3月10日 水曜日 10時から12時 全27回	延べ203人	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアワーク・グループワークを取り入れ発表する機会を入れることで多様な意見や感性に触れることで自己を見つめなおし、互いについてきっかけとなった ・自分のコミュニケーション傾向を知るためのチェックテストを行い自分のタイプを把握することで、他者との「ちがひ」を知り対応できる可能性を増やせた 	藤田潮 (and Cs代表。国際連盟プロフェッショナルサーティファイドコーチ) 諸井更絵子 (株式会社kucca代表。排泄学・性教育学講座講師)
3	柳沢	ムービールーム柳沢	令和6年7月17日から 令和7年3月19日 毎月第2水曜日（7回） 令和7年3月29日 （土）（3回）	延べ499人	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館だよりと館内のチラシやポスターの掲示のみだったが、西東京市のホームページも使うことでより多くの方に情報の周知を行った。 	

4	柳沢	みんなで踊ろう！やぎさわディスコ	令和6年7月21日 9月22日 12月22日 令和7年2月16日 日曜日 13時から16時 4回	延べ180人	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある人もない人も、若い人も高齢者も共に音楽とダンスを楽しめるように、参加者全員分のイスを部屋の壁沿いに配置し、安心して踊れるスペースを部屋中央に設けた。 ・実行委員会として市民サークルのメンバーに加えて、ふれあい喫茶運営委員、社会福祉協議会委員、運営ボランティアが集まり、公民館専門員と共同して企画、運営を行った。 	
5	柳沢	中学生・高校生対象講座 K-POPを踊ろう！	令和6年7月24日から 令和7年3月5日 水曜日 16時15分から18時15分 全19回	延べ239人	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な学校、学年の参加者たちの関係性形成に繋げることが出来た。発表の場を2回設けたことで、講師と受講生ともに、いかに効率的にダンス練習をしていくか試行錯誤を重ねながら、熱量を高めていくことが出来た。 	六反田菜都実（T.T彩たまオフィシャルダンサーチーム所属、桐朋芸術短期大学芸術科演劇専攻ミュージカルコース卒）
6	柳沢	地域づくりを考える講座 なぜ子どもたちはうつむいて登校するのか ～子どもを取り巻く教育環境について考える～	令和6年8月24日から 9月7日 土曜日 10時から12時 全3回	延べ65人	<p>幼児期から小学校入学後の価値観への急激な転換に、多くの子どもたちが戸惑う現状を出発点とし、3回の講義を通して多角的・客観的に子どもの育つ環境について理解を深め、何が問題なのかを知る機会となった。</p>	保谷しげ美（小学校非常勤講師、元公民館職員、米ポートランドコミュニティカレッジ修了） 松田洋介（大東文化大学 文学部教育学科 教授） 岸田久恵（西東京わいわいネット代表、NPO法人猫のあしあと代表、元教師）

7	柳沢	ライフデザイン講座 仕事なんか生きがいにするな 3 ～生きる意味を再び考える～	令和7年 1月28日(火曜日) 2月4日(火曜日) 2月12日(水曜日) 19時30分から21時15分 全3回	延べ113人	「仕事」について考えることをきっかけに、自分の生き方や考え方について掘り下げ、今回は「世界から見た日本」という視点を取り入れることで、社会や世界の中の自分という存在を考えるきっかけとなった。	泉谷 閑示(精神科医、音楽家、評論家) 若井 千鶴(泉谷セミナー事務局員)
8	柳沢	【共催事業】 第19回人形劇フェスタin西東京 ※人形劇フェスタ実行委員会との共催	令和7年3月16日 日曜日 10時から14時30分 5回	人形劇鑑賞 延べ204人 工作参加 延べ91人	「西東京市に人形劇を根付かせたい、子ども達に人形劇の文化を届けたい」と活動する市民団体が実行委員会形式で企画・運営して開催。人形劇の他に学生運営の「工作のお部屋」を開き、家族連れや祖母と孫の参加で、多世代交流の場ともなった。	井上幸子(人形劇団プーク) 岡本和彦(人形劇団プーク)
9	田無	あめんぼ青年教室 (障害者学級)	令和6年4月28日から令和7年3月9日 日曜日 10時から12時 13時30分から15時30分 全31回	延べ456人	・田無公民館ロビーまつりやSDGsロビーフェスタ田無に参加し、人前で発表することで自分に自信を持つことができた。 ・年間計画の話し合いや、日頃の活動の感想や意見の発表を毎回行うことで、自分の意思を上手に伝えることができるようになった。	【音楽活動】 西村直人(NPOえほんうた・あそびうた代表) 【創作活動】 江田章子(保谷クロッキー会・グループAD代表) 佐野啓子(高齢者食事学研究会所属) 石原アサ子(北多摩民舞研究会)

10	田無	ギャラリー田無公民館	令和6年5月16日 (木曜日)から令和 7年3月31日(月曜 日)	7団体	外の通行者の目も引くアート作品を、手作りのショーウィンドウに展示することで、田無公民館の存在に気づいてもらい、アート作品を楽しみながら田無公民館の中へも入って来られるような導線としている。	
11	田無	女性のための講座(保育付) 絵本とわらべうたでハッピーな 毎日	令和6年10月1日か ら令和7年3月18日 火曜日 10時から12時 全19回	延べ143人	絵本とわらべうたを通して子育て・親育ちへの相互支援的な関係が地域に育まれるよう、子育て期の市民だけではなく、世代を超えて市民がともに学び交流した。公開講座では、会場参加のほかオンライン参加も可能とすることで、公民館へ来館することが困難な人の学ぶ機会ともなった。また、発達障害の子どもたちを育てた講師から「こだわり」への対応の話聞くことで子どもとのトラブルもなく楽しく子育てするヒントとなった。	福岡淳子(保育と人形の会、日本子どもの本研究会会員、元小学校教諭、学校司書) 西村説子(NPO法人CAPセンターJAPAN 就学前プログラムトレーナー) 堀内裕子(自閉症スペクトラム支援士、傾聴心理士) 西東京市図書館職員
12	田無	防災講座 明日の命を守るために、私たち ができること地震災害～火災 編～	10月13日(日曜日) 10時から12時 10月18日(金曜日) 13時15分から16時30 分 全2回	延べ67人	・過去の震災での火災事例をもとに、地震火災について学んだ。また、いざという時に落ち着いて行動できるような判断力を養うために地震を想定した防災訓練を実施した。 ・自治会等にも声をかけ、市民が地域の災害リスクを正しく理解し「自らの命は自らが守る」という自助の考え方と、非常時に市民同士で助け合うという共助の取り組みを考えた。	廣井悠(東京大学先端科学技術研究センター教授、東京消防庁西東京消防署田無出張所隊員、警視庁田無警察署警備課警備係主任巡查部長)

13	田無	趣味の講座 ソラフラワーを作ってみよう	11月22日 11月29日 12月6日 金曜日 13時30分から15時30分 全3回	延べ39人	廃材となるタイのソラの木からとれるソラシートを使って、簡単にできるソラフラワーを作成	石原このみ（クレアソラフラワー認定講師）
14	田無	小学生親子夕方講座 百人一首「競技かるた」を始めよう	令和7年1月22日から 3月19日 水曜日 16時15分から18時15分 全5回	延べ58人	親子で和歌の意味を味わいながら百人一首かるたのルールや技術を学びゲームを楽しんだ。	杉並かるた会
15	田無	田無公民館ロビーまつり	令和7年3月9日 日曜日 10時から15時40分 ※作品展示は3月1日から3月31日	延べ860人	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館利用団体に発表の場を提供することで、日頃の活動に対する意欲を高めるとともに、田無公民館ロビーまつりを創りあげるプロセスを通して活動の幅を広げていく機会とした。 ・実行委員会でロビーまつりの企画運営について話し合い合意形成を図り、田無公民館ロビーまつりを創り上げていくプロセスを経験することで、団体間の関係性を築く機会とした。 	

16	芝久保	芝久保交流会	4月16日（火曜日） から2月3日（火曜日）	延べ131人	<ul style="list-style-type: none"> ・運営に関することや学習会で取り上げる内容については参加者間で意見交換を行いながら、地域の居場所を作っている。 ・地域包括支援センターによる「私の人生ノート」勉強会や歌（合唱）の会、創作活動、インドアモルック、ボッチャなどを実施した。 	中村佳子（ピアノ伴奏・歌唱指導）、堀内千春（西東京市スポーツ推進員）、下本地順（西東京市スポーツ推進員）
17	芝久保	現代的課題を考える講座 （保育付き） しあわせココロ学 ～人や社会への思いやり～	令和6年10月24日から 令和7年2月14日 金曜日 10時から12時 全13回	延べ121人	<p>ストレスを感じる事が多い日々の中で、心を軽くする様々なコツと心の安定を保つ方法を学んだ。 また、人や社会を思いやる事が心にゆとりを持つことにつながることを知った。</p>	石川文子（NPO法人子ども家庭リソースセンター所属、Nobody's perfect-Japan認定トレーナー） 行長万里（食品ロス削減料理研究家） 石井文由（明治薬科大学 セルフメディケーション学研究室 教授） 和田侑子（明治薬科大学 セルフメディケーション学研究室 講師） 山口真奈美（（一社）日本サステナブル・ラベル協会 代表理事）
18	芝久保	創作講座 植物の色を楽しむ草木染 ～西原自然公園の樹木と草花～	令和7年 2月14日 2月21日 2月28日 金曜日 10時から12時 全3回	延べ23人	西原自然公園を散策し、生息している植物について学び、西原自然公園に育成する植物を使って草木染を体験する。	池田干城（西原自然公園を育成する会） 浦野政子（西原自然公園を育成する会）

19	谷戸	農業を知る講座 ～収穫の喜びと仲間づくり～	令和6年7月23日（火曜日）から令和7年2月27日（木曜日） 全24回	延べ707人	30年以上続いている農業を知る講座では、農作業と収穫体験、データに基づく農薬や肥料の基礎知識の習得を通して、農業と野菜作りの大変さを実感するとともに、都市農業の問題や西東京市の農業の実像を学ぶことができた。各講義ごとにアンケートを実施し、参加者のニーズを分析した。また受講者による作業日誌、講師との資料を含めた「記録誌」を作成し、参加者同士で共有した。	保谷隆司（市内農業経営者、西東京市農業委員会会長） 小野紀之（環境カウンセラー、一般社団法人地域パートナーシップ支援センター理事長） 西東京市産業振興課職員
20	谷戸	大人のための文章講座（保育付き） きっと誰かに伝えたい、私だけのストーリーボード	令和6年9月26日から令和7年3月13日 木曜日 全17回	延べ190人	文章の基本的な書き方や仕組みを知ること、自分の思いを相手に分かりやすく伝えるスキルを身につけ創作の楽しみや仲間と共有していく喜びを分かち合うことができた。 全員がエッセイとコラムを創作した。講座の成果として作品集を作ることができた。今後も文章の創作を通して学び合う関係性をつくられた。	小川こころ（文筆家、元新聞記者、文章スタジオ東京青猫ワークス代表）
21	谷戸	中高生が企画する小学生向け防災講座「避難所サバイバル」	令和6年 10月20日（日曜日） 12月14日（土曜日） 令和7年 3月16日（日曜日） 10時から12時 全3回	延べ72人	中高生企画ボランティアを募集し、講師や実際に能登支援に赴いた中高生の体験を聴き、小学生に何を伝えるか、どう伝えるか意見交換を重ね「避難所」をテーマに講座を実施。体験を通してわかりやすく避難所について学ぶことで、いざという時の自宅の備えを身近な「食」を通して、自分事として考え、学び合う機会を持った。講座終了後、実践発表方法話し合い、地域の大人へ発表する機会を持った。	小野 修平 （防災アドバイザー、ジョージ防災研究所代表）

22	谷戸	サークル体験会	令和7年2月3日 (月曜日) から3月 14日(金曜日)	25人	期間中の参加団体活動日に事前申込による見学体験の実施	
23	谷戸	谷戸公民館40th Anniversary Concert みんなで楽しむ春の音楽会	令和7年3月20日 (木・祝)	120人	協力団体と共にロビーコンサートを開催。40周年記念の締めくくりとして、0歳からのお子様たちと一緒に、みんなで楽しみ、ふれあった音楽会となった。	協力団体 ウインドアンサンブル和 西東京ジュニア・ユースオーケストラ 保谷ギターアンサンブル
24	ひばりが丘	防災講座 防災芋づる大作戦 2025	令和7年 1月26日 2月9日 日曜日 10時から12時 全2回	延べ65人	マンションの防災活動や住民を巻き込み広がる地域活動の事例報告から学ぶとともに、参加者が抱える防災に関する悩みやこれまでの実践を共有した。被災して避難したらどうなるのかを疑似体験できる機会を設けた。	照屋 朝 (ひばりリンピック大会事務局長) 中岡弘樹・太田朋子・大熊拓也 (ひばりが丘フィールド けやき通り団地管理組合防災委員会) 岡橋かおり・野呂順正 (一般社団法人 地域防災支援協 会・地域防災アドバイザー)

25	ひばりが丘	第16回 ひばりが丘フェスティバル	3月2日 日曜日	552人	ひばりが丘公民館を中心に活動するサークルの活動成果の発表。主催講座の学習成果の発表。地域住民と公民館利用者の交流の機会。	
26	保谷駅前	あつまれ！みんなのけいおん講座	令和6年7月21日から令和7年3月16日まで 14時から16時 全9回	延べ104人	青少年を対象にした楽器の演奏や合奏を通じた交流、学習成果の発表。	太田光宏（音楽制作集団HEART NOTE PROJECT代表） 渡邊篤子（生涯学習音楽指導員） 山本雄一（ドラム講師）
27	保谷駅前	趣味講座 保谷駅前でバンドをやろう	令和6年8月23日から令和7年3月28日まで 19時30分から21時 全10回	延べ238人	準備会を重ね、バンドを組んで発表会をおこなう	